



第64回 通常総会	2
酪農部会定期総会	3
青年部定期総会	
種子馬鈴薯部会定期総会	4
年金友の会定期総会	
肉牛部会定期総会	5
農民連盟定期総会	
十勝酪農フォーラム2012	6
乳牛ジャッジングコンテスト	7
アルーダ十勝オープンフェア	
外国人農業技能実習生送別会	8

外国人農業技能実習生歓迎会	
すみれ会健康づくり講座	9
3団体女性部料理交流会	
酪友会婦人研修会	10
てん菜育苗センター操業開始	
畑作地に融雪材を散布	
理事会報告	11
人事異動・新規職員紹介	12
南十勝酪農ヘルパー有限責任事業組合	
事務局変更のお知らせ	
表紙インタビュー・占い	13
背表紙（農業政策・価格要請運動）	14

# 第64回 通常総会開催される

4月20日、JAひろお第64回通常総会が広尾町農村環境改善センターで開催されました。

当日は来賓として、広尾町長を始め、各系統連合会や関係機関などのご臨席を頂き、出席者全員による「JA綱領」を朗唱後、萬亀山組合長の挨拶で開会致しました。

広尾町長 村瀬優氏、広尾町議会議長 阿曾公道氏、系統連合会を代表して全共連北海道本部帯広支所長 山脇剛氏より祝辞を頂き、続いて出席者の中から鯖江雅浩さん、佐々木裕隆さんが議長に選出され早速議事に入りました。



議事では、平成23年度事業報告、収支決算報告や平成24年度事業計画および収支予算案などが事務局より説明され、出席された組合員の皆さんは熱心に聞き入り意見を述べられ、議長のスムーズな議事進行と組合員の皆さんのご協力により提出議案はすべて承認され終了しました。

総会開催前には、平成23年度広尾町農業振興共励会褒賞授与式が行われ、各部門における最優秀賞および優秀賞受賞者が表彰され、併せて第15回北海道総合畜産共進会、2011北海道ブラックアンドホワイトシヨウ（乳用牛の部）においてジュニアチャンピオンを獲得しました佐藤孝一さんと2011北海道ブラックアンドホワイトシヨウ（ジャージー種）において未經産チャンピオンを獲得しました川崎正幸さんに特別奨励賞が授与されました。

また、平成23年度新規就農者激励状が新規に就農された4名の方々に授与されました。



## 広尾町農業振興共励会褒賞受賞者

- 酪農経営改善の部
  - 最優秀賞 久保 進
  - 優秀賞 ①山本牧場
  - 〃 日黒 尚
  - 最優秀賞の部 山川 幸吉
- 特別奨励賞
  - 最優秀賞 村上弘志
  - 優秀賞 ①フルフィッシュ
  - 〃 川崎 正幸
- 平成23年度新規就農者
  - 成田 芳樹 山本 等
  - 北藤 和利 山川 高史

# 酪農部会定期総会開かれる

4月9日、第21回広尾町農協酪農部会定期総会が広尾町農村環境改善センターにて開催されました。

開催にあたり北藤敦博会長から昨年度の活動概要や今年度の取り組み方針も含めた挨拶があり、その後、上野潤



副部長が議長となり議事が進められ、提出された平成23年度事業報告・収支決算および平成24年度事業計画・収支予算案など全ての議案が承認されました。

また、議事の中で昨年度は平成22年の猛暑の影響から分娩時期が大幅にずれ込み、7月下旬までは前年を下回る実績で推移してきたが、8月以降、個々の飼養管理の徹底や暑熱対策、乳牛導入の推進などもあり、順調に生産が伸びて、受託年度末には5万2千トンを上回る生産実績を挙げる事が出来たことは、部会員の日頃の努力の成果であるとの報告もあり、今年度も良質な生乳の生産と安定した酪農経営を目指して、各種研修会への参加や近年管内で猛威をふるっている「マイコプラズマ性乳房炎」の撲滅に向けた対策など、酪農部会として積極的に取り組んでいくことを出席者全員で確認し、総会を終了しました。

# 第34回 定期総会開催される

2月28日、広尾町農村環境改善センターにおいて第34回JAひろお青年部定期総会が開催されました。

藤井将利青年部長の開会挨拶に続き、来賓の萬亀山組合長、野田副町長、酒井十勝農業改良普及センター十勝南部支所地域係長、吉澤十勝地区青年部協議会理事からご祝辞を頂き議事に入りました。

議事では、平成23年度事業報告・収支決算および平成24年度事業計画・収支予算案について説明があり、今年度の事業として農業空容器の回収など環境に優しい農業の推進、各種団体との交流や町内行事への参加、牛乳や乳製品の消費拡大キャンペーンの協力、十勝地区農協青年部協議会の行事参加による各JA青年部との交流や情報交換、研修会・勉強会の開催など、営農技術向上や部の活性化に伴う議案が提出され全て承認されました。

また、任期満了に伴う役員改選が行われ全員一致で新役員を選出し、最後に岡田新部長の開会の挨拶があり総会



は終了しました。

新しい役員は次のとおりです。

部長	岡田 純一
副部長	渡部 広樹
書記長	鈴木 敏文
理事	佐藤 昌之
〃	佐藤 哲也
監事	佐藤 真樹



## 第50回 種子馬鈴薯部会定期総会開催される

4月5日、広尾町農協種子馬鈴薯部会第50回定期総会が広尾町農村環境改善センターで開催されました。松木部会長より「平成23年度は異常気象などの影響はありましたが、部会員皆さんの努力により品質、収量とも平年を上回ることができました。」との挨拶があり、その後議事に入りました。

議事では、平成23年度事業報告、収支決算および平成24年度事業計画、収支予算案について事務局より説明があり提出された議案は全て原案どおり承認されました。



広尾町農協  
年金友の会

## 第18回 定期総会開催される

4月26日、第18回広尾町農協年金友の会定期総会が広尾町農村環境改善センターで開催されました。開催に先立ち、鯖江義信会長から、昨年度の活動状況や今年度の新規事業計画に触れ挨拶がありました。その後議事に入り、平成23年度事業実施報告・収支決算および平成24年度事業計画・収支予算案などについて説明があり、議案は全て承認されました。事業計画では、組織拡大による活動の充実を目指し、会員加入推進を重点的に取り組むことになりました。総会終了後、広尾警察署豊似駐在所の前田巡査を講師に招き、振り込め詐欺に関する研修会が行われ、新しい手口のもがビデオで紹介されました。また、広尾町健康管理センターの松田保健師による健康講座も行われ、今回は「お口の健康」にスポットを当てて、歯の日常管理や口の筋力低下防止など、口の健康が元気の源であると説明を受けました。お昼には、懇親会を兼ねたゲーム大会で楽しみ、特にテーブル対抗輪投げ大会では大いに盛り上がり、有意義な1日を過ごしました。

第21回

## 肉牛部会定期総会開催される

3月15日、広尾町農村環境改善センターにおいて第21回定期総会が行われました。

門馬部会長の挨拶後、議事に入りました。議事には、平成23年度事業報告・収支決算報告、平成24年度事業計画および収支予算案が提案されました。平成24年度事業計画には、「十勝和牛」ブランドを普及するため飼養管理マニュアルに沿った取り組みや、全体的な飼養管理技術の向上が必要な事から各種勉強会や研修会等積極的に参加し、素牛商品価値向上対策として、削減・早めの搬入・ブラッシングを取組内容として推進していくことなどが盛り込まれており、全ての議案が承認され、定期総会を終了しました。



第43回

## 広尾町農民連盟 定期総会開催される

4月6日、広尾町農民連盟の第43回定期総会が広尾町農業環境改善センターで開催されました。

盟友、来賓を含め43名が出席の中、綱領朗唱の後、相良執行委員長より昨年度の農業情勢とTPP問題に触れ挨拶がありました。

引き続き、村瀬町長、角倉組合長代行、真鍋全勝地区農民連盟書記長から祝辞を頂き、紋別地区の岡本宏さんを議長に選出し議事に入りました。

平成23年度運動報告及び

収支決算報告、さらに平成24年度運動方針と収支予算案などが可決されました。また今回、役員改選が行われ、次のとおり執行委員が選任されました。

執行委員長 佐々木 嘉行

(畑作対策委員長)

執行副委員長 折笠 利彦

(税務対策委員長)

執行副委員長 横井 博章

(酪畜対策委員長)

執行委員 今村 忠夫

(税務対策副委員長)

執行委員 杉田 淳

(酪畜対策副委員長)

執行委員 石井 勝也

(畑作対策副委員長)

代表監事 立林 由起夫

(税務対策委員)

監事 上野 朋博

(酪畜対策委員)





農協連主催  
第17回 乳牛ジャッジングコンテスト開催される

3月26日、十勝農協連家畜共進会場（音更町）にて、農協連主催の乳牛ジャッジングコンテストが行われました。審査員に更別村酪農家今村敏幸氏が招かれ、広尾町乳牛改良同志会からは4人1チームが参加し、山本勝己さんが未経産クラス・角倉円佳さんが4才3産クラスの審査員に選出され、審査講評を行いました。どのクラスもととてもすばらしい牛が揃い、レベルの高いジャッジングとなりました。参加された会員が今後の共進会で審査していく中で、とても良い経験になりました。



平成24年度

アルーダ十勝オープンフェア開催



3月22日、23日の二日間、平成24年度アルーダ十勝オープンフェアが十勝くみあい農機事業センターで開催されました。

両日とも天候に恵まれ、多くの来場者が訪れ出品された中古農機具等を見て回り、特に初日は購入希望者の抽選が各所で行われていました。

今回は、出品台数は昨年より少なめでしたが質の良い中古農機具が多く価格はやや高めでした。

来場者が多いことや、商品によっては大勢の購入希望者が殺到するなど中古農機具の需要は依然として高いと思われます。

十勝酪農フォーラム2012



3月27日、農協連ビルにて十勝酪農フォーラムが開催されました。

今回はパネリストとして4戸の管内酪農家が招かれ、各農場の概要や取組について説明がありました。

更別村小松牧場では、昨年から1年の目標を繁殖に絞り、自家授精による徹底した管理を行い、初回授精日数や空胎日数を大幅に短縮しています。

大樹町(農)日昭牧場では、各作業の担当責任者を決め、半年毎のローテーションにより全ての従業員が全体の作業内容を把握できるような体制作りをしています。また、飼養管理においては搾乳牛を前期・中期・後期・初産の4群に、乾乳は前期・後期の2群に分け分娩後の疾病防止を図っています。また、分娩2週間前に手絞りで4分房の乳汁を取り、乳房炎の場合は乳房炎軟膏を注入し分娩後の乳房炎発症を防いでいます。

上士幌町(有)富田牧場では繁殖に力を入れており、3年前から万歩計を導入し朝一でチェックし、分娩間隔400日以内に抑え、初回授精日数を50日目安で行うことにより、空胎日数を120日に短縮しています。

上士幌町佐々木牧場ではプログラム授精をしています。シーダシンクを使用し、ホルモン調整をする事により一定の繁殖成績をあげています。繁殖管理を従業員に任せることで責任感を持たせ、自分と同じレベルまで育てる様に心掛けています。

他にも、粗飼料作りや乳質改善に係る様々な取組事項について説明があり、参加された酪農家にとっても内容の濃いフォーラムとなりました。